

令和8年度 第1回三重県文化財保護審議会 議事録

日時：令和8年8月6日（木）13：30～15：40

場所：三重県庁 7階 教育委員室

出席者

委員：【会場】岡野・森・谷口・大河内・川崎・板井・小早川・小澤・前迫・浅野 10名

【オンライン】岡田・富島・高橋・道林 4名

【欠席】門脇・永島 2名

事務局：次長・課長・課員

傍聴：なし

取材：1社（中日新聞）

1 審議会の公開について

附属機関等の会議は、「三重県情報公開条例第27条」により原則公開だが、今回の会議のうち、「審議」は、同条例第7条第5号の審議検討情報を含む「非開示情報」が含まれることから、「報告」は公開、「審議」は非公開とする事務局提案について委員了承。

2 審議会成立の確認と報告

委員数16名の過半数の委員、14名が出席し、会が成立することを報告した。

3 報告【公開】（事実確認の質疑は省略）

① 国・県指定文化財の現状変更等について

森：確認だが、ネコギギの大紀町の事業については大紀町が主体か。

事務局：申請地は大紀町だが、工事の主体は県であり、内容は例年実施している護岸工事である。

森：県教育委員会からも県河川課に周知・情報共有をお願いしたい。

また、学術研究による現状変更の結果については共有されているか。

事務局：例年通り結果報告が提出されている。

森：これらの結果報告は貴重な成果として事務局の方で把握するようお願いしたい。

大河内：鉄製宝篋印塔の相輪について、具体的な脱落箇所を教えてほしい。

事務局：相輪のうち九輪部分の1点は破断したうえ落下、もう1個は外れてぶら下がっている状態であった。

大河内：鉄製なので、錆化による劣化による破損であろう、修復はできるか？

事務局：落下したものは3/4残っており松阪市が検討中、もう1個は修復可能の見通し。

岡野：確認だが対象の宝篋印塔は1点か。

事務局：1点である。

岡野：地蔵院本堂の附の古文書について、棟札は寺に残っているという認識でよろしいか。

事務局：その通りである。

岡田：伊賀焼の事務所については長谷園だと思うが、登録文化財はまだ増加する見通しか。

事務局：現状では追加登録の要望はない。国庫補助を用いた既登録文化財の修繕が主である。

岡田：指定対象になりそうな倉庫があるので、伊賀市との情報共有をお願いしたい。

② 多度大社上げ馬神事について

前迫：主体となる地区が6地区から3地区になったが、退会理由について教えてほしい
事務局：最大の理由としては担い手不足、費用の問題があり、課題点については今後検討を進めていきたい。

4 諮問・審議【非公開】

(1) 令和8年度三重県指定候補文化財について

有形文化財1件について、指定候補文化財とする諮問を行った。事務局より概要を説明し、委員による審議の結果、1件が調査対象となった。

5 その他

令和8年度第2回は、令和8年12月から令和9年1月頃開催予定。